

大泉西中学校・大泉第三小学校・大泉西小学校・大泉第四小学校

中学校区の特徴

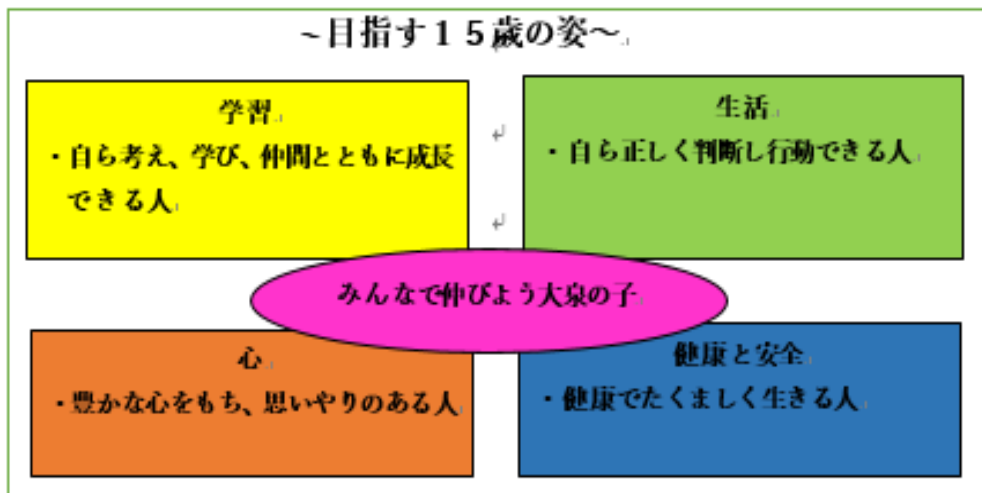
- ・豊かな自然の中で、明るく素直な児童・生徒が育っている。
- ・保護者は学校の教育を理解し協力的である。
- ・地域の方々の学校への関心が高く、地域全体で児童・生徒を育てようとする雰囲気がある。

目指す15歳の姿

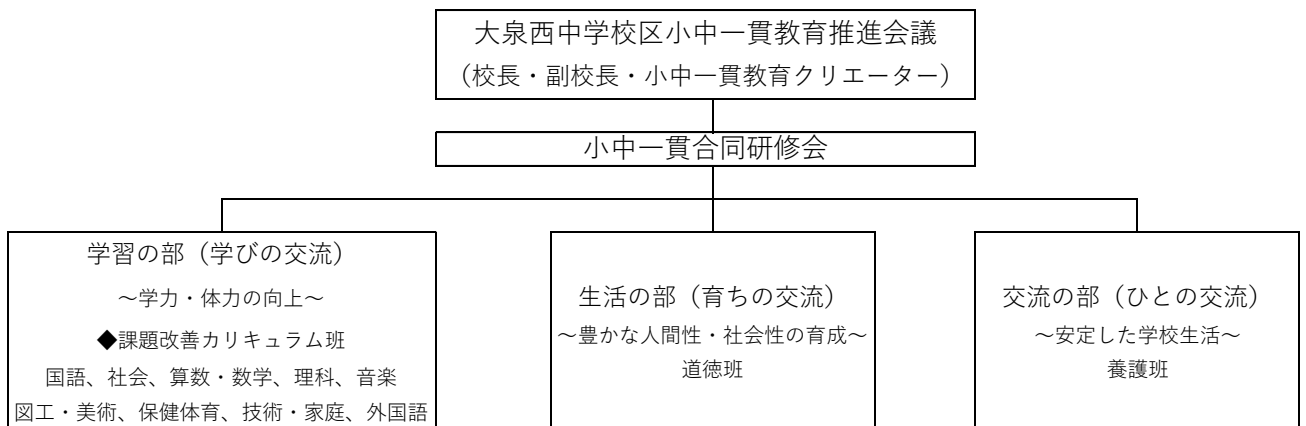
- ・学習→自ら考え、学び、仲間とともに成長できる人
- ・生活→自ら正しく判断し行動できる人
- ・心→豊かな心を持ち、思いやりのある人
- ・健康と安全→健康でたくましく生きる人

1 目指す15歳の姿の具現化に向けた取組

大泉西中グループでは、目指す15歳の姿を、学習、生活、心、健康と安全という四つの項目に分けて考えた。以前より本グループでは、～大泉の子のきまり～を作成し、「みんなで伸びよう大泉の子」をもとにして各校で共通の目標を立て実践を行ってきた。本グループではこれを参考にして「目指す15歳の姿」を新たに作成し、各校で掲示をし、校区の教員が共通した姿を意識できるようにしている。



2 組織



3 今年度の取組

(1) 令和2年度の重点取組

取組1

『小中一貫教育グループにおける「目指す15歳の姿」の明確化』

- ・「大泉の子」と関連付けて、大泉西中の教育目標をベースに「目指す15歳の姿」の作成を行った。
- ・今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により4校が一堂に介しての取組が難しかったので、来年度以降の実践に努める。

取組2

『いじめや不登校等の防止など豊かな心の育成に向けた取組の実践または研究』

- ・子供（校内）支援委員会、ケース会議での情報共有を行い、話し合ったことを生活指導夕会（部会）等で全体共有をした。
- ・各学年で週ごとの情報共有と、いじめアンケート（月末のアンケート）では毎月のテーマを設定して実施した。
- ・特別支援委員会を開き、生徒に関する詳細はC4thで情報共有を行った。
- ・いじめ防止標語、ポスター、宣言を校内掲示している。
- ・小学校第5学年、中学校第1学年はスクールカウンセラーと面談して、スクールカウンセラーとのつながりをつくる取組みなどを行った。
- ・全校朝会などで、校長からの、いじめ・不登校防止に向けた豊かな心を育てる講話を受け、各学級で指導をした。
- ・スムーズに中学校生活をスタートさせるために、きめ細やかな引継ぎを実施してきた。その際、4校共通のシートを活用し、健康面などの配慮事項が確実に引き継げるよう工夫している。

(2) 成果と今後の進め方

① 成果

- ・昨年度の課題改善カリキュラムに則り、全教科授業を行う。各授業で課題を意識して授業に取り組む。その後、成果と課題を検討し、次年度へつなげるようにまとめることができた。
- ・「15歳の目指す姿」やいじめや不登校等の防止などの取組をグループで共有できた。

② 今後の進め方

- ・今年度、昨年度確認した課題改善授業を行うことで、新たな課題を見出せたので、来年度の授業改善に生かしていく。
- ・「目指す15歳の姿」をもとに、9年間を見通した指導の方法をさらに検討していく。それに伴い、現在の三つの部の改編を考えていきたい。
- ・コロナ禍でも実施できる連携の方法を探り、さらなる小中一貫教育を目指して、取組を見直す機会を設けていく。